例　　言

1．本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の1995年度の発掘調査報告書である。

2．発掘調査および整理作業は、国庫（2,990,000円）、県費（1,495,000円）の補助金の交付を受け、平成７年４月３日から平成８年３月22日まで実施した。

3．調査組織

調査主体者　　大井町教育委員会
担当課　　生涯学習課文化財保護係
教育長　　高橋好次郎
生涯学習課長　　石井忠夫（平成７年度）　池本敏雄（平成８年度）
文化財保護係長　　岡田眞一（平成６年度～平成８年９月31日）　喜多川泰実（平成８年10月１日～）
文化財保護係・発掘調査担当者　　坪田幹男・高崎直成・鍋島直久
大井町臨時職員・発掘調査補助員　　阿部智巳(平成７年度)・太田賢一(平成７年度)・土本医(平成８年度)

4．本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。

執　筆：各調査担当者の協力を得て鍋島が行なった。
土器実測：斎藤尽志　　石器実測：高橋けい子　　陶磁器実測：石垣ゆき子
土器拓影：丹治つや子、青山奈保美、軽部美波　　土器復元：中田藤子
トレース：小林登喜江、須藤さち子　　図版作成：高橋けい子、丹治つや子、青山奈保美、軽部美波
遺構写真：坪田幹男、高崎直成、鍋島直久、阿部智巳、太田賢一　　遺物写真：鍋島直久

石器実測と土器実測の一部を㈱東京航業研究所に委託した。また、本書の作成にあたり日本考古学協会員の今井堯氏の絶大な援助と協力を得た。

5．各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。

浅野晴樹、荒井幹夫、今井堯、内田賢司、加藤秀之、梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、倉田芳郎、駒井和久、桜井信枝、佐藤正志、笹森健一、島田一郎、鈴木仁子、鈴木裕子、中島宏、塚田政子、原口雅樹、早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、三上七五郎、水村孝行、柳井章宏、柳沢健司、和田晋治、隅本健介（敬称略）
埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課、大井町大井・苗間第一土地区画整理組合、
亀久保特定土地区画整理組合、東久保土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会、
㈲文化財ＣＯＭ。

6．発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉（敬称略）
会沢　泉、新井和枝、荒井美奈子、飯塚泰子、井上晴江、海老原サナエ、大曽根キク子、笠原英子、金子君子、金丸文男、神木光治、河野俊郎、小林こずい、小山エミ子、斎藤尽志、酒井　昭、佐久間ひろ子、菅原　正、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、高木千恵子、戸澤竹二、中嶋末子、仲里しげ子、永塚美千代、並木宗次、野岡由紀子、野上吉樹、野沢松代、塙　和男、林きぬ子、比嘉洋子、三村美代子、宮田　守、森脇やよい、山下一枝、若尾久美子、若林紀美代、篠崎忠三。
〈整理作業参加者〉（敬称略）
石垣ゆき子、小林登喜江、斎藤尽志、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、冨岡康子、中田藤子、青山奈保美、軽部美波

凡　　例

1．本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりで、各図版に縮尺を明示した。

(1)　縮尺は原則として
遺構配置図　1:300　　遺構平面図・遺物出土状況図　1:60　　炉などの詳細図　1:30
土器実測図　1:4　　土器拓影図・石器実測図・陶磁器・砥石・金属器　1:3

(2)　遺構断面図の水糸高は海抜高、遺構図中の細数字は、床面もしくは確認面からの深さ(cm)を示す。

(3)　遺構図におけるscreen—toneの指示、遺物出土状況のドットの指示。
攪乱　地山（ローム層）　焼土　土器（片）　● 石器　★ 礫　○

(4)　土器実測図におけるscreen—tone　の指示は、地文の縄文または撚糸文を示す。

(5)　本文または表中の（　）内の数値は残存値を表す。

2．住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3．土器断面図は、「網目」が繊維含有、「黒丸」が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

4．本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第２表　1995年度埋蔵文化財調査一覧

No.	遺　跡・地　点	所　在　地	調査面積(㎡)	調査原因	調査期間(本調査期間)	調査内容
1	神明後遺跡第３地点	苗間309-12-13	200	宅地分譲	(4/10～5/19)	調査会本調査
2	本村遺跡第44地点	大井287-1	1,198	共同住宅建設	(4/10～5/25)	調査会本調査
3	本村遺跡第46地点	大井126	744	共同住宅建設	4/4～13(4/17～5/8)	試掘・調査会本調査
4	西ノ原遺跡第74地点	苗間163	169	事務所建設	4/21～5/13	試掘
5	西ノ原遺跡第75地点	苗間122	379	倉庫付き事務所建設	5/16～23(6/2～9/14)	試掘・調査会本調査
6	西ノ原遺跡第76地点	苗間151-2 他	468	倉庫建設	4/20～27	試掘
7	西ノ原遺跡第77地点	苗間143-2	347	店舗建設	5/24～25(6/1～7/28)	試掘・調査会本調査
8	西ノ原遺跡第78地点	苗間22-3-2	45	貯水槽	6/28～8/8	試掘
9	本村遺跡第45地点	大井253、254	324	個人住宅建設	6/10～16(6/18～7/17)	試掘・教生本調査
10	西ノ原遺跡第79地点	苗間162-2他	135	個人住宅建設	6/29～7/24	試掘
11	亀居遺跡第42地点	鶴ヶ岡1-3-14	196.03	歯科医院建設	7/11～18	試掘
12	江川南遺跡４地点	亀久保192	825	庫裏建設	8/28～9/21	試掘・教生本調査
13	西ノ原遺跡第80地点	苗間83-2	319	駐車場造成	7/19～7/25	試掘
14	本村遺跡第47地点	大井253、255	608	宅地分譲	7/18～24	試掘
15	亀居遺跡第43地点	鶴ヶ岡2-3-1	818	店舗兼共同住宅建設	8/9～30	試掘
16	西ノ原遺跡第81地点	苗間169	223	店舗兼住宅建設	8/2～7	試掘
17	西ノ原遺跡第82地点	苗間168	249	事務所建設	8/1～5	試掘
18	中沢前遺跡第９地点	苗間190	222.43	個人住宅建設	8/23～24	試掘
19	西ノ原遺跡第83地点	苗間136-2	190.06	個人住宅建設	(8/23～10/21)	教生本調査
20	本村遺跡第48地点	大井140	1,122	宅地分譲	9/18～9/19 (9/30～11/20)	試掘・調査会本調査
21	浄禅寺跡遺跡第12地点	苗間35-95	140	個人住宅建設	9/25～10/21	試掘・教生本調査
22	西ノ原遺跡第84地点	苗間108、109	135	個人住宅建設	11/30～12/9	試掘
23	本村遺跡第49地点	大井333	280	個人住宅建設	1/10～11(1/16～2/3)	試掘・教生本調査
24	西ノ原遺跡第85地点	苗間181-3	654	パチンコ店建設	1/9～26	試掘
25	浄禅寺跡遺跡第13地点	苗間314-2	101.42	個人住宅建設	1/8～29	試掘
26	江川東遺跡第４地点	東久保138-4他	246.35	個人住宅建設	1/24～29	試掘
27	本村遺跡第50地点	大井106	571	個人住宅建設	2/20～24	試掘
28	本村遺跡第51地点	大井350､360他	2,412	共同住宅建設	3/21～27(4/3～5/30)	試掘・調査会本調査

第３表　1995年度区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査一覧

No.	遺　跡・地　点	所　在　地	調査面積(㎡)	調　査　原　因	調査期間(本調査期間)	調査内容
1	亀居遺跡第41地点	亀久保995-24他	530	亀久保区画整理地内・区画整理道路築造	(5/31～8/4)	調査会本調査
2	亀居遺跡第44地点	亀久保1013-1他	1,030	亀久保区画整理地内・区画整理道路築造	(10/22～12/4)	調査会本調査
3	東久保南遺跡第６地点	亀久保551-4 他	540	東久保区画整理地内・区画整理道路築造	(6/20～7/10)	調査会本調査
4	東久保南遺跡第７地点	亀久保554 他	1,930	東久保区画整理地内・区画整理道路築造	(6/20～7/10)	調査会本調査
5	東久保南遺跡第８地点	亀久保494	542.5	東久保区画整理地内・区画整理道路築造	(11/16～12/13)	調査会本調査

試掘、教生本調査：大井町教育委員会実施　　調査会本調査：大井町遺跡調査会実施

Ⅴ　西ノ原遺跡の調査

Ⅴ－1　遺跡の立地と環境

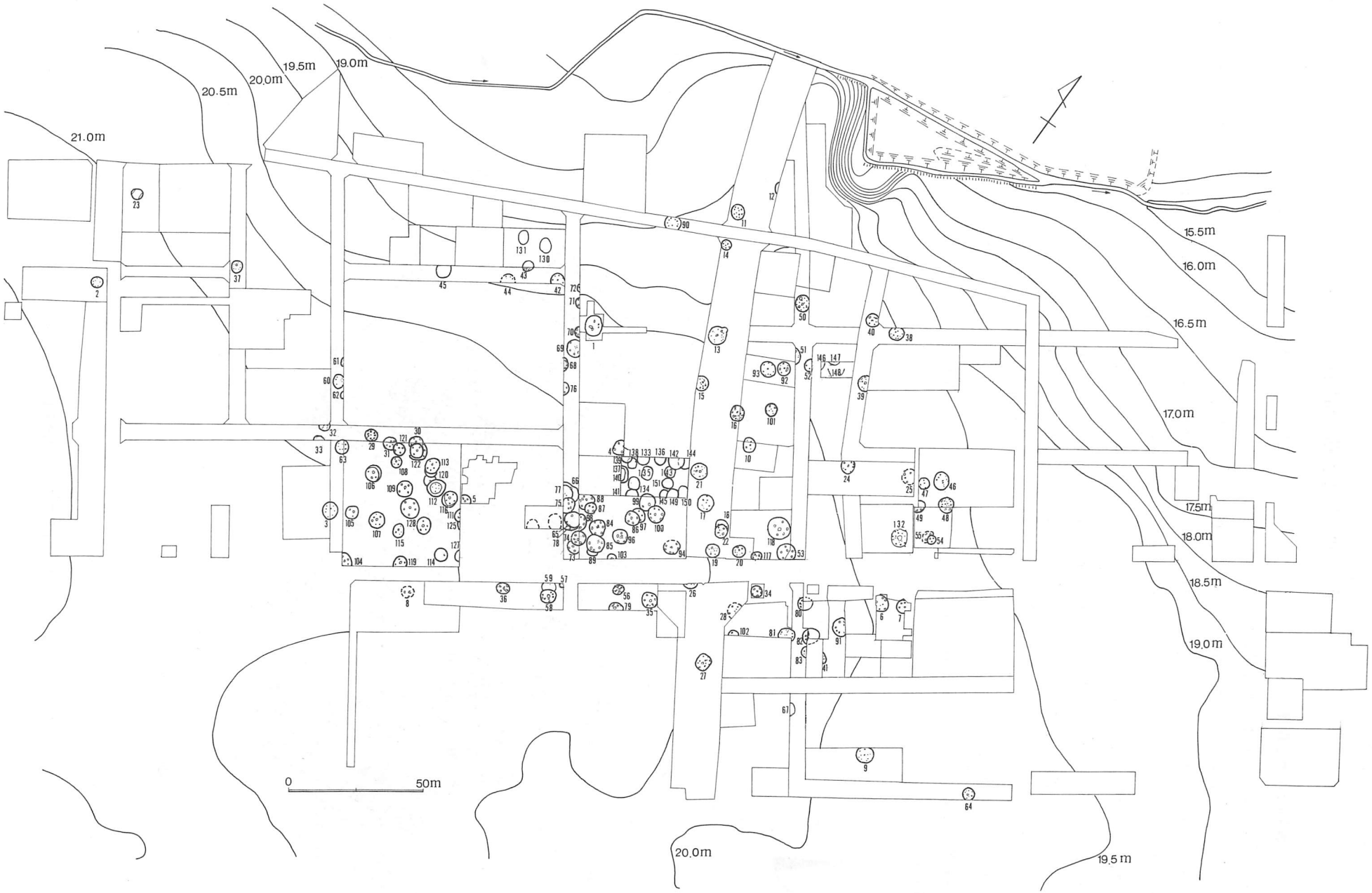
西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18m～21.0mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に勇水源を持つ伏流水で、東から西へ流れて入間川の支流新河岸川に注ぐ。且つては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡との高低差は２～３ｍで、武蔵野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台地上に立地する。

本遺跡の発掘調査率は町内遺跡群では突出している。昭和40年代頃までは武蔵野の面影を残す農村地帯であったが、ここ数年開発の増加により遺跡の破壊が進んでいる。と、同時に発掘調査も遺跡面積10haの約40％が調査されてきている。過去24年間の90個所余りに及ぶ調査で明らかになった遺跡の時期は、確認された遺構と遺物から旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、150軒を超す住居跡が環状集落として形成され、町内において東台遺跡と共に中期全般を通した大規模集落跡であったことがわかる。

1996年９月31日現在の調査状況によると縄文時代中期の住居跡が153軒確認されている。



第31図　西ノ原遺跡の地形と調査区（1/4,000）



第32図　西ノ原遺跡縄文時代中期住居配置図（1/2,000）

Ⅴ－2　西ノ原遺跡第74地点

(1)　調査の概要

調査は事務所建設に伴うもので、原因者から1995年4月4日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。調査区は遺跡の北西部縁辺にあたり、標高は16.5～17.5mと北西に向かって傾斜している。遺跡地図と照合したところ、これまでの区画整理事業に伴う調査および周辺部の調査から、本調査区周辺には遺構が確認されている。このため原因者と協議の結果、遺跡範囲と遺構の存在確認のための試掘調査を実施することとした。

調査区の長軸方向に幅約2mのトレンチを3本設定し、同年4月21日から重機による表土除去後、人力による調査を行ない、同年5月13日埋め戻しを終了した。一部遺構らしき範囲の確認された部分を拡張した。

(2)　遺構と遺物

試掘調査で確認検出した遺構は、ピット6基である。遺物は縄文土器片1点、陶磁器片1点である。

第11表　西ノ原遺跡第74地点ピット一覧表　　単位：cm

No.	確認面	底径	深さ	形態
1	43×38	11× 9	42.6	楕円形
2	32×30	16×12	12.8	円形
3	43×42	8× 6	23.4	円形
4	61×52	13× 8	26.1	楕円形
5	45×40	29×11	12.8	楕円形
6	82×61	10× 8	30.0	楕円形

Ⅴ－3　西ノ原遺跡第75地点

(1)　調査の概要

調査は倉庫付き事務所建設に伴うもので、1995年4月11日に原因者から「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。

遺跡地図と照合したところ、これまでの区画整理事業に伴う調査および周辺部の調査から、本調査区に住居跡等の遺構が延びていることが明らかであった。このため原因者と協議の結果、開発の変更などが出来ないため、原因者負担による本調査を実施することとし、本調査を実施するにあたって、遺構の広がりを正確に把握するための試掘調査を行なうこととした。

試掘調査は調査区の東西方向に幅約2mのトレンチを3本設定し、同年5月16日から23日まで重機による表土除去後、人力による調査を行なった。結果は多数の住居跡等の遺構が確認された。

本調査は同年6月2日から9月23日まで、大井町教育委員会生涯学習課を事務局とする大井町遺跡調査会が行ない、縄文時代中期住居跡17軒、集石土坑1基、土坑3基を確認検出した。試掘調査出土遺物については本調査出土遺物と共に報告したい。(現在整理作業中)

Ⅴ－4　西ノ原遺跡第76地点

(1)　調査の概要

調査は倉庫建設に伴うもので、1995年4月11日に原因者から「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。調査区は遺跡の北西部にあたり、標高は18.5～18.0mと北西に向かって傾斜している。遺跡地図と照合したところ、これまでの周辺部の調査から、本調査区周辺には遺構が確認されている。このため原因者と協議の結果、遺跡範囲と遺構の存在確認のための試掘調査を実施することとした。

試掘調査は残土置場の関係から調査区を東西に分け、半分ずつ行なった。同年4月20日から重機による表土除去を行なった後、人力による調査を行ない、4月27日埋め戻しを終了した。

(2)　遺構と遺物

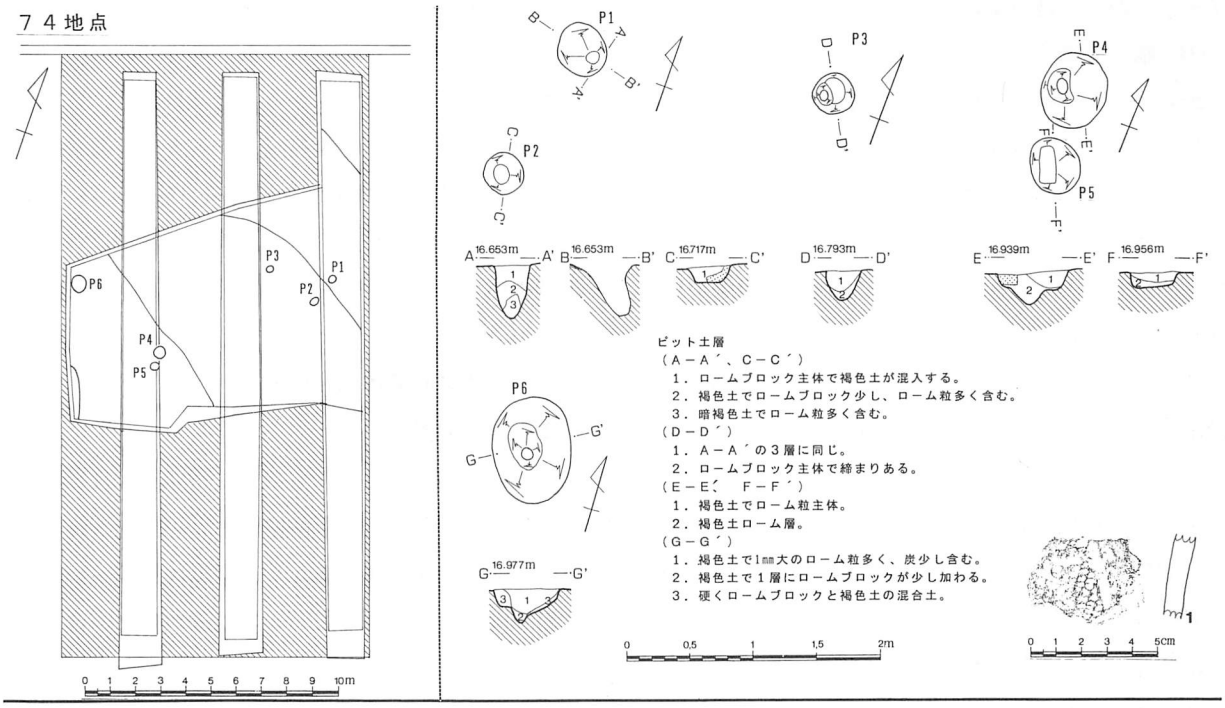
調査区東側部分で一部遺構らしき部分を確認し、中・近世以降とみられる溝1本、溝より古い時期とみられるピット1を検出した。

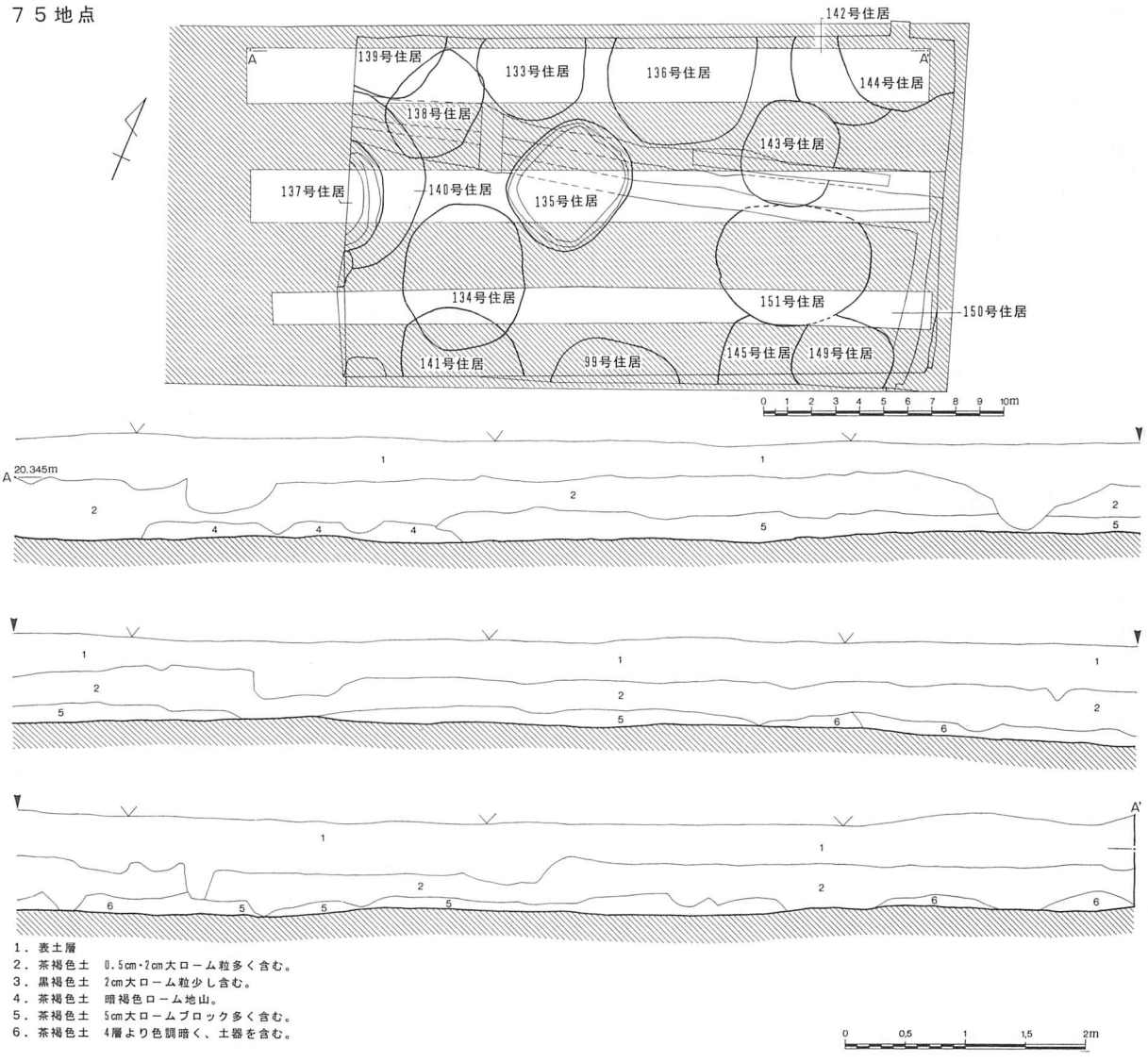
溝の規模は上幅50～35cm、下幅33～17cm、深さは約20cmである。ピット1は平面円形で、規模は確認面の径34～28cm、底径12cm、深さは確認面より65cmを測る。遺物は縄文土器片2点が出土している。1は無文口唇部、2は2本の沈線がみられ地文条線とみられる。

Ⅴ－5　西ノ原遺跡第77地点

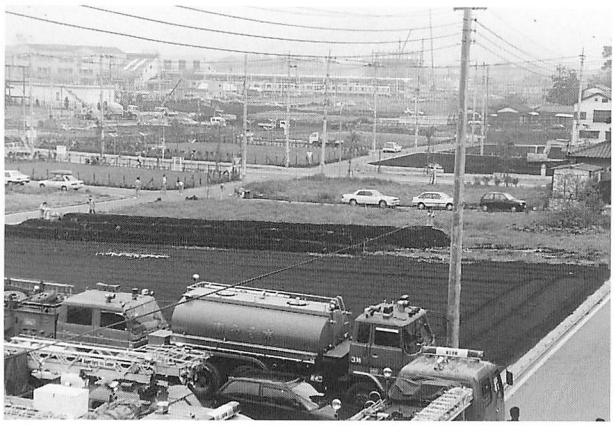
(1)　調査の概要

調査は店舗建設に伴うもので、原因者から1995年4月17日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。遺跡地図と照合したところ、調査区は遺跡の中央部に位置しこれまでの区画整理事業に伴う調査および周辺部の調査から、本調査区周辺には遺構が多数確認されている。このため原因者と協議の結果、遺跡範囲





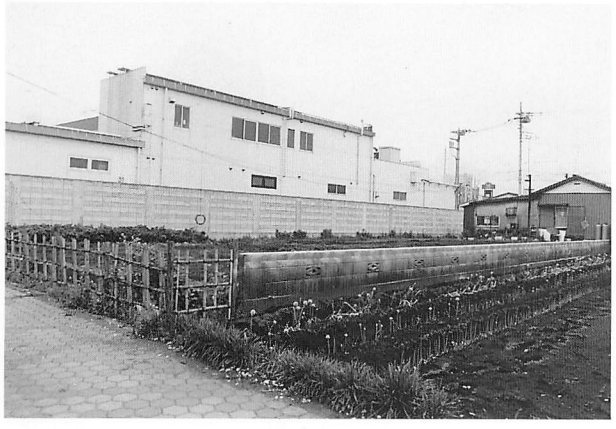
第33図　西ノ原遺跡第74・75地点遺構配置図（1/300）、74地点ピット・出土土器・75地点土層図（1/60）(1/3)



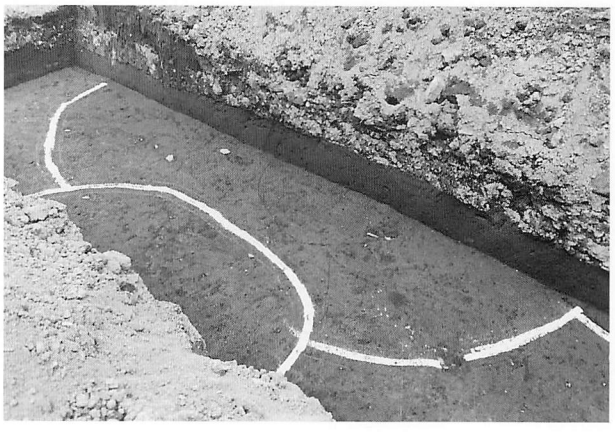
西ノ原遺跡第74地点遠景



西ノ原遺跡第74地点試掘



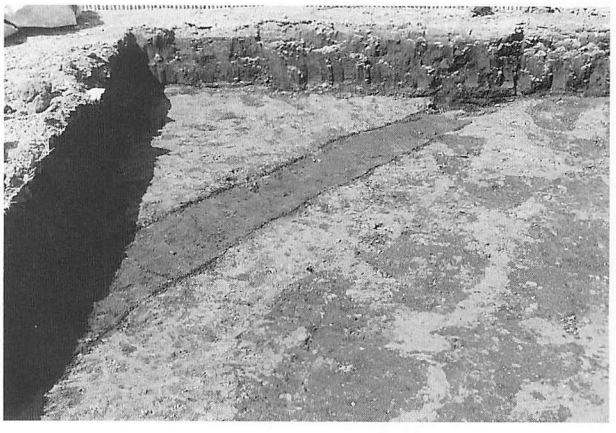
西ノ原遺跡第75地点近景



西ノ原遺跡第75地点試掘



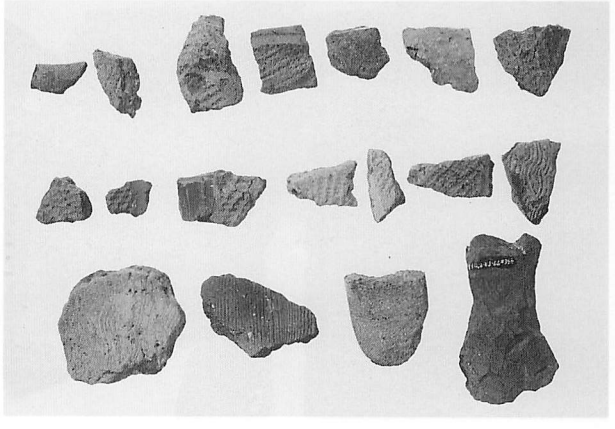
西ノ原遺跡第76地点近景



西ノ原遺跡第76地点試掘



西ノ原遺跡第77地点試掘風景



西ノ原遺跡第76・77地点出土遺物